

件名	令和8年度 第1回 福井市障がい者自立支援協議会 地域生活支援部会報告書	作成日	令和8年5月18日
		作成者	平鍋 昭子
日時	令和8年5月12日(火) 13:30~15:00	会場	宝永公民館
出席者 (傍聴者)	別紙参照(敬称略) 傍聴者：高田議員		
欠席者	福井市民生児童委員協議会連合会 藤田様 福井市社会福祉協議会 堀様		
協議事項	1. 部会長の選出 2. 福井市障がい者自立支援協議会に関する説明 <a href="#">資料1</a> 3. 今後の活動方針(案)について <a href="#">資料2</a> (1) 地域移行に関するアンケート結果の検証について <a href="#">資料3</a> (2) 地域生活支援の充実に関する課題について <a href="#">別紙参照</a> 4. その他 (1) 専門部会共通ルール <a href="#">資料4</a> (2) 専門部会における地域課題の取扱について <a href="#">資料5</a> (3) 部会等年間予定、グループワークについて <a href="#">裏面参照</a> (4) 民生児童委員へ出前講座の依頼について <a href="#">別紙参照</a>		
協議内容	1. 部会長の選出 奥村委員より、地域支援に継続的にかかわられ、昨年度は、地域移行地域定着部会でグループリーダーを勤められた。幅広い視点での地域課題に取り組んでこられた実績から、地域支援部会の部会長として適任であると考え、相談ふくい山本氏を推薦され承認される。 〔山本部会長挨拶〕 しっかり時間を担保して、1人の困り事をみんなで考え、みんなの困り事にも繋がっていく。それを少しでも解決可能にしていくことで、住みやすい地域ができるのではないかと感じる。また、自分たちの所属組織や、職能団体の困り事が、実は横の繋がりで解決されることもありぜひ、横の繋がりをお願いしたい。自立支援協議会で話されている内容を所属組織とか、加入されている職能団体などで協議をして頂き、部会に持ち帰って頂くと、会の活性化に繋がっていくと思っている。 2. 福井市障がい者自立支援協議会に関する説明 <a href="#">資料1</a> 〔障がい福祉課 城戸氏〕 資料1の説明 〔水野委員〕 ・全体会も含め、当事者の声がされる組織作りを今でもって頂ければと思う。他の部会については、残念ながら私どもの精神関係の障害団体がまだ入っていない為、ぜひそちらの方にも、お声かけし、私どもの参加ができるような仕組みができればよい。 〔障がい福祉課 城戸氏〕 ・今年度の自立支援協議会の体制としては、当事者団体は各専門部会にそれぞれ入っていただく、ということで、昨年度の協議会でも協議し、決定したところである。課題の意見が反映されないということがないようにしていきたい。当事者からの意見は、専門部会の場で完結させるのではなく、他の会議や意見交換会等の場も活用しながら、複数のルートで把握していきたい。 3. 今後の活動方針(案)について <a href="#">資料2</a> <a href="#">資料3</a> 〔福井市障がい者基幹相談支援センター 坪田氏〕 ・資料2(令和7年度、居宅生活支援部会、地域移行地域定着部会の取り組みについて)、資料3(施設、入院病棟からの地域移行推進に向けて、施設担当者へのアンケート、利用者の地域移行意向調査結果)、地域生活支援の充実に関する課題について説明。 〔山本部会長〕 ・前年度、2つの部会で取り組んできたことを今年度も引き続き協議をしていくことになる。 〔山崎アドバイザー〕 ・資料3について補足。アンケート結果より、入所、入院時の早期移行支援介入が必要、また退院		

後の受け皿、家族の同意を得ることが課題と理解できた。

〔福井市障がい者基幹相談支援センター 坪田氏〕

・地域生活の充実について部会員に移動の課題と親亡きあとの課題についてアンケート実施。カテゴリー分けをした。

〔障がい福祉課 城戸氏〕

・タクシーチケットの助成については依然、居宅生活支援部会で精査したアンケート(作成は障がい福祉課)集計中。結果をみて今後制度の見直し等についても検討していきたい。

〔山本部会長〕

・地域生活について何か意見はないか。

〔水野委員〕

・重度障がい者の孤立化、支援を断られることも課題かと思うのでそこも含めて議論が出来るとうい。

〔土居委員〕

・移動の課題では、介護タクシーも急には対応してもらえない。重度の障がい者の車椅子対応してくれるバスもない現状もある。

〔宮本委員〕

・働いているスタッフがまだ知識不足。移動でも、ルートの変更が苦手なこともある。強度行動障害の研修もスタッフに受けていただきたいと思っている。

〔池田委員〕

・重度の障がいがあり車椅子の方の夜間の急な移動の支援がなく、救急車になる。そこまではない場合の移動が難しい。

〔八力委員〕

・生活保護の方の通院のタクシー代、通院は生活保護から出るケースありタクシー会社に生活保護から支給を受けてもらえるタクシーがあるが少ないので取り合いになる。

〔石山委員〕

・タクシーチケットは便利だが、一人で外出が難しい方の支援が難しい。

〔障がい福祉課 城戸氏〕

・移動と親亡き後の課題について、いろいろな課題があるが、部会として、どこを優先して協議していくか協議したい。

・障がい者の手引きを分かりやすくしたフローチャートを居宅生活支援部会で作成したが、協議の部分は(1部会ではなく)協議会でできるといい。

〔山本部会長〕

・相談業務をしている中で、資料があっても何年も前の時があり更新がされていないこともある。

〔水野委員〕

・そこまで情報にたどり着くまでに時間がかかる。知らない人の方が多い。病院等で発信等、そあたりもお願いしたい。

〔奥村委員〕

・親亡き後、現実やっこないと勧めれない現状もある。今の地域に住みたいのなら、準備しているところから始めている。

〔新谷委員〕

・きっかけがないと動けない現状はあるかと。入所の高齢化はあり受入の時がきっかけになり、お話があれば対応。身寄りがない方や、後見人等や親亡き後も医療を安心して受けられる仕組みが必要。

〔川端委員〕

・矯正施設対象者になるが、本人に困り感がないので進めにくく現実化しないのが課題。

〔小田委員〕

・去年は設立50周年。当時の20歳の方が70歳と高齢化。一度、親の会で集団後見をしようとなったが実現しなかった。その後も後見人をつけることが一番重要と進めてきた。医療の面では後見人がついていても医療同意まではできず制度の限界もある。

〔障がい者基幹支援センター 坪田氏〕

・3つの課題(移動、親亡き後、地域移行)の課題の解決に向け、グループワークで協議ができると

<p>結 論</p>	<p>よいと考える。移動の課題は制度の課題もあるので、優先的には親亡きあとや地域移行でのアンケートから考えられるといいのではないかと。</p> <p>[障がい福祉課 城戸氏]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局で 2 グループに分けさせて頂くが、希望があれば城戸まで。2 回目の部会からはグループワークで考えていく。</li> </ul>
<p>報告事項</p>	<p>3. その他</p> <p>[障がい福祉課 城戸氏]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料4(専門部会共通ルール)、資料5(地域課題の取り扱い)、部会予定のグループワークの説明。</li> </ul> <p>[地区相談支援事業所なんとう 平鍋氏]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出前講座の依頼の説明:地域移行地域定着部会、居宅生活支援部会で行ってきた地域への理解促進や病院への退院促進等の出前講座の取り組みがあり、今年度も西部民生児童委員より 3 回シリーズで依頼あり。5月は期限もあり事務局で対応、6 月からは部会委員の方のご協力を願いたい。協力できる方は障がい福祉課城戸氏までご連絡いただきたい。</li> </ul>
<p>意 見</p>	<p>[山本部会長]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修をする上で何かアドバイスはあるか。</li> </ul> <p>[水上委員]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・困らない地域づくりが必要。社中学校で実施した「参加者がしっかり考える」研修が良かった。知らないから利用できないのはあってはならない。支援者と知り合う機会が大事。</li> </ul> <p style="text-align: right;">以上</p>
<p>次 回</p>	<p>令和 8 年 8 月 12 日(水)13:30</p>